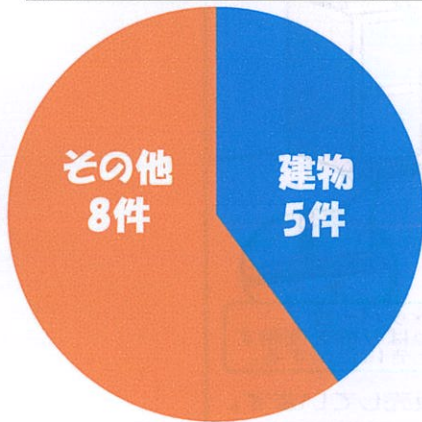


令和6年度 全国統一防火標語 『守りたい 未来があるから 火の用心』

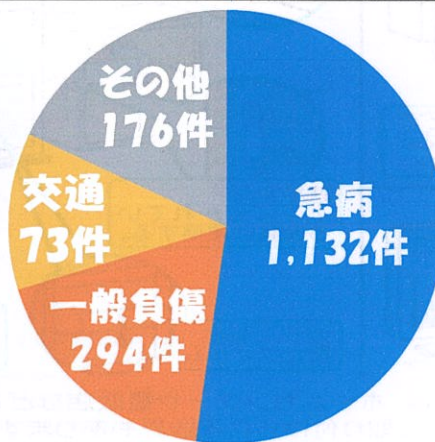
3月1日から3月7日までの間、「春の全国火災予防運動」が実施されます。この運動は、空気が乾燥し火災が発生しやすい季節に、火災発生防止と火災による死者を減少させることを目的としています。



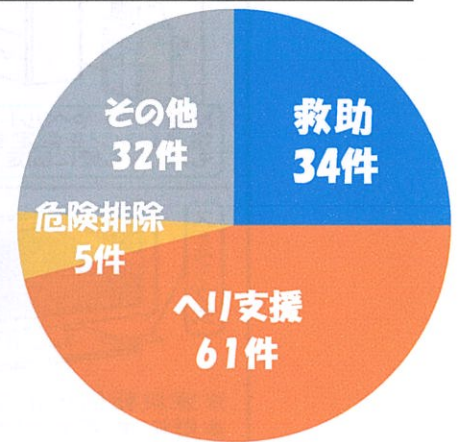
令和6年 木曾広域消防本部 災 害 発 生 状 況



火災13件



救急1,739件



救助、その他 132件

救急出動件数は過去最多件数となりました

救急車を呼ぶか迷ったら#7119の活用を！

木曾郡内では令和6年の救急出動は過去最多件数となりましたが、約5割は軽症でした。救急車がいち早く緊急性の高い傷病者の元に到着するために、救急車の適正利用にご協力ください。

大人（おおむね15歳以上）の方が、急な病気やケガで救急車を呼ぶか、病院に行くか迷ったとき、長野県救急安心センター（#7119）に電話し看護師等の相談員からアドバイスをもらうことができます。

※こども（おおむね15歳未満）の方の相談は#8000をご利用ください。

緊急・重症の場合は迷わず119番通報してください。

<<< 地震に対する日頃の備え >>>

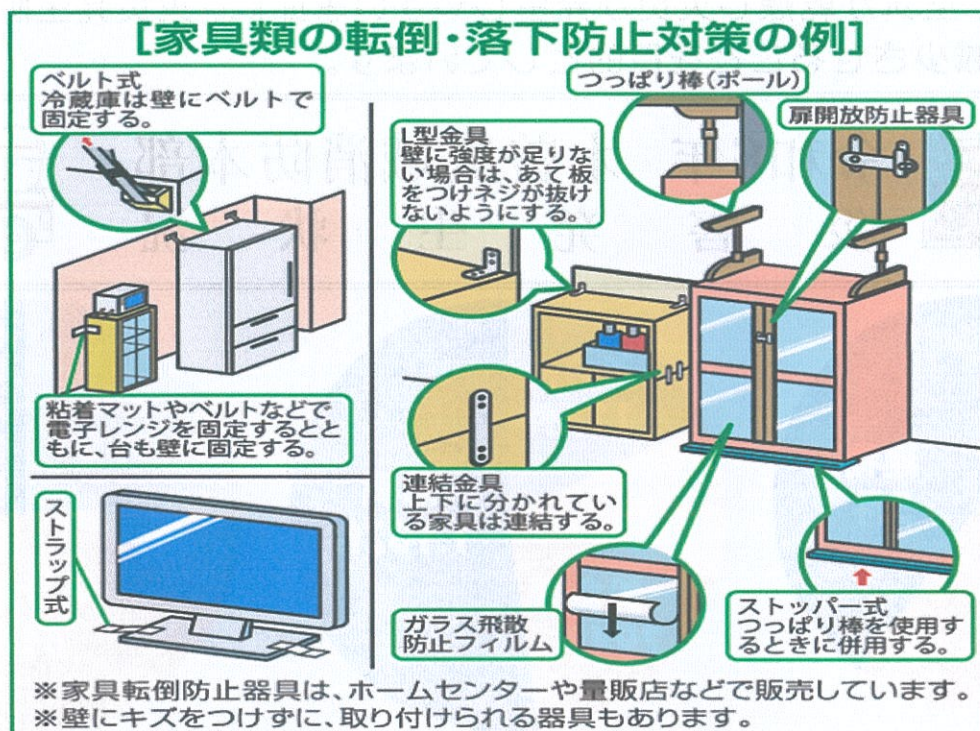
地震はいつ発生するか分かりません。近年、全国各地で多くの地震が発生しており、数年以内に南海トラフ巨大地震が発生する可能性が高いと言われています。

いざという時あわてないために、地震時の対処を覚えておきましょう。

○地震時の行動

大きな地震が発生したとき、まずは身の安全を確保しましょう。物が『落ちてこない』『倒れてこない』『移動してこない』場所に入ります。寝ているときなどは、枕や布団で頭を守ってください。

※備えとして家具類の転倒、落下防止対策をしましょう。



○地震直後の行動

出典：東京消防庁

揺れが収まったら、あわてずに火の始末をします。出火したときは、落ち着いて消火します。このときガラスの破片や転倒した家具に注意し、スリッパ等を活用して足を保護してください。余震に備え避難ができるように出口を確保します。

○地震後の行動

ラジオやテレビ、行政などから正しい情報をこまめに確認し、危険な情報があればただちに避難します。

※いざというときのために事前に避難場所等を確認しておきましょう。

水、備えていますか？

水は生命や生活の維持に必ず必要です。災害時でライフラインが止まった時に必要な水の量は、飲料用と調理用だけで一人当たり1日3リットルの水が必要と言われており、最低3日分として9リットルの備蓄が必要になります。